



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東  
コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 尾留川 一仁 TEL 03-3471-0011  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,595	0.5	440	22.4	314	△31.6	199	△36.6
2024年3月期中間期	9,548	△4.2	359	△36.6	460	△40.8	313	△42.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 786百万円 (36.1%) 2024年3月期中間期 577百万円 (△30.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	35.68	34.84
2024年3月期中間期	56.77	55.35

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	22,773	11,424	49.5	2,012.27
2024年3月期	21,356	10,777	49.7	1,909.16

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,265百万円 2024年3月期 10,619百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	5.7	920	6.3	900	14.4	620	8.3	111.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	6,006,373株	2024年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	408,073株	2024年3月期	443,973株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	5,578,157株	2024年3月期中間期	5,529,655株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期中間期の個別業績 (2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,245	0.6	258	10.2	107	△66.6	63	△70.0
2024年3月期中間期	8,198	△9.0	234	△54.7	322	△55.1	212	△56.9

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.44	11.17
2024年3月期中間期	38.51	37.54

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	20,372	9,705	47.4	1,731.45
2024年3月期	19,785	9,829	49.4	1,758.57

(参考) 自己資本

2025年3月期中間期

9,658百万円

2024年3月期

9,781百万円

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善、インバウンド消費の増加などもあり、景気は緩やかな回復が続いています。一方、長期化するウクライナ紛争に加えイスラエル・パレスチナ紛争など、地政学リスクの上昇や、外国為替相場における円高の進行など先行き不透明な状況が継続しております。

物流業界において、国際貨物は半導体関連の輸出が増加傾向にありますが、総じて輸出入ともにおおむね横ばいとなりました。国内貨物は、生活、建設関連貨物の減少が影響し低調な推移となりました。

このような事業環境の中、当グループは、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、2023年7月に策定した3カ年の中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)において、顧客の真のニーズを引き出し、生産効率向上に寄与するソリューションの実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、主に工作機械の輸出が減少傾向にある一方、半導体製造装置の取扱いが好調に推移し、おおむね前年並みとなりました。

営業利益につきましては、半導体製造装置の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、連結子会社における不正行為によって発生した利益増加額60百万円の影響により、増加いたしました。

なお、経常利益につきましては、急激な円高の進行の影響を受け、主に子会社に対する長期貸付金において発生した為替差損74百万円及び連結子会社における不正行為の調査に係る費用として営業外業務委託料92百万円を計上した結果、減少いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高95億95百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益4億40百万円(前年同期比22.4%増)、経常利益3億14百万円(前年同期比31.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益1億99百万円(前年同期比36.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①梱包事業部門

工作機械の輸出取扱いが減少したことにより売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、半導体製造装置の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、連結子会社の不正行為によって発生した利益増加額60百万円の影響により増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高68億15百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益7億69百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

#### ②運輸事業部門

前年大幅に減少していた医療機器の取扱いが復調したことに加え、小型精密機器の取扱いも好調に推移したこと及び、外注費の値上がり分について顧客への価格転嫁を進めたことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高13億40百万円(前年同期比16.6%増)、セグメント利益1億13百万円(前年同期比105.4%増)となりました。

#### ③倉庫事業部門

前年増加した半導体製造装置及び工作機械の出荷待ち製品の保管が減少したこと及び、顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが遅れている影響で売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高13億12百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益2億27百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

#### ④賃貸ビル事業部門

本社ビルが満床で稼働しているため、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、修繕費が前年より減少したため増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億27百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益39百万円(前年同期比35.8%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産227億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億16百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、74億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億25百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加11億17百万円、売掛金の減少2億93百万円、電子記録債権の増加1億64百万円によるものであります。

固定資産につきましては、153億円となり、前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の増加2億円、土地の増加2億85百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少17百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少51百万円、繰延税金資産の増加4百万円によるものであります。

## ②負債

当中間連結会計期間末の負債合計は、113億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億69百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、61億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億37百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少54百万円、短期借入金の増加3億9百万円、未払い法人税等の増加1億38百万円によるものであります。

固定負債につきましては、51億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加4億15百万円、リース債務の減少1億30百万円及びデリバティブ債務の減少61百万円によるものであります。

## ③純資産

純資産につきましては、114億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億47百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加26百万円及び為替換算調整勘定の増加6億30百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.7%から49.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,220,135	3,338,003
受取手形	21,461	25,000
売掛金	3,505,357	3,212,340
電子記録債権	9,837	174,603
未収還付法人税等	59,228	—
原材料及び貯蔵品	447,369	427,466
その他	188,793	299,778
貸倒引当金	△5,200	△4,699
流動資産合計	6,446,983	7,472,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,486,098	8,686,140
機械装置及び運搬具(純額)	330,153	358,057
土地	2,907,078	3,192,439
リース資産(純額)	669,149	549,389
建設仮勘定	75,910	60,922
その他(純額)	37,538	39,676
有形固定資産合計	12,505,928	12,886,624
無形固定資産		
ソフトウェア	237,248	220,050
ソフトウェア仮勘定	4,730	—
その他	645	585
無形固定資産合計	242,623	220,636
投資その他の資産		
投資有価証券	518,964	467,080
繰延税金資産	764,597	769,269
その他	883,325	975,767
貸倒引当金	△5,761	△18,570
投資その他の資産合計	2,161,125	2,193,546
固定資産合計	14,909,677	15,300,806
資産合計	21,356,661	22,773,301

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,699	763,983
短期借入金	3,218,257	3,527,440
リース債務	277,382	284,371
未払法人税等	13,373	151,989
賞与引当金	380,933	374,624
その他	1,036,803	1,080,703
流動負債合計	5,745,450	6,183,111
固定負債		
長期借入金	2,750,327	3,166,071
リース債務	316,691	186,531
退職給付に係る負債	890,176	907,969
資産除去債務	488,750	493,560
デリバティブ債務	99,080	37,954
その他	288,980	373,370
固定負債合計	4,834,006	5,165,457
負債合計	10,579,456	11,348,568
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,465,429	2,477,567
利益剰余金	5,365,511	5,392,103
自己株式	△252,489	△231,333
株主資本合計	10,102,317	10,162,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,775	211,547
為替換算調整勘定	284,631	915,194
退職給付に係る調整累計額	△27,217	△23,658
その他の包括利益累計額合計	517,189	1,103,083
新株予約権	47,277	47,277
非支配株主持分	110,420	112,168
純資産合計	10,777,204	11,424,732
負債純資産合計	21,356,661	22,773,301



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,548,263	9,595,378
売上原価	7,505,836	7,508,460
売上総利益	2,042,426	2,086,918
販売費及び一般管理費		
販売費	723,735	760,131
一般管理費	959,156	886,696
販売費及び一般管理費合計	1,682,891	1,646,828
営業利益	359,534	440,089
営業外収益		
受取利息	10,206	9,058
受取配当金	8,123	9,228
為替差益	149,586	—
受取保険金	128	7,861
損害賠償金収入	—	36,113
デリバティブ評価益	—	13,815
その他	14,389	17,488
営業外収益合計	182,435	93,566
営業外費用		
支払利息	36,044	35,533
為替差損	—	74,520
支払手数料	747	499
デリバティブ評価損	44,869	—
営業外業務委託料	—	92,665
その他	212	15,873
営業外費用合計	81,874	219,094
経常利益	460,095	314,562
特別利益		
固定資産売却益	429	2,751
特別利益合計	429	2,751
税金等調整前中間純利益	460,525	317,313
法人税、住民税及び事業税	70,696	116,563
法人税等調整額	73,386	△24
法人税等合計	144,083	116,538
中間純利益	316,441	200,774
非支配株主に帰属する中間純利益	2,495	1,747
親会社株主に帰属する中間純利益	313,946	199,026

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	316,441	200,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,332	△48,227
繰延ヘッジ損益	1,371	—
為替換算調整勘定	208,296	630,563
退職給付に係る調整額	3,398	3,558
その他の包括利益合計	261,399	585,893
中間包括利益	577,841	786,668
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	575,345	784,920
非支配株主に係る中間包括利益	2,495	1,747

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社連結子会社における不正行為について)

当社連結子会社であるSANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc. (以下「SLA」)において、SLAに出向の元従業員(以下「当該元従業員」)による不正行為並びに当該元従業員から指示を受けた一部の当社従業員、及びSLA従業員による不正行為(以下「本件行為」)に関して調査を行い、外部調査機関より調査報告書を受領いたしました。過去の各期に与える業績の影響は訂正を要する程の重要性はないため、過年度有価証券報告書及び四半期報告書の訂正はありません。

調査結果に基づく本件行為が当中間連結会計期間の段階損益に与える影響は、経費の私的利用、不正な財務報告及び当該事項に伴い計上される貸倒引当金繰入額を合わせて、営業利益60,505千円、経常利益49,243千円、中間純利益32,313千円、それぞれの利益を増加させる方向となります。なお、本件行為のうち、当期発生したものについては当中間連結会計期間において修正を行っております。その他、今回の調査費用として営業外費用92,665千円を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,899,207	1,149,410	1,375,438	124,207	9,548,263	9,548,263
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,752	—	—	2,752	2,752
計	6,899,207	1,152,162	1,375,438	124,207	9,551,016	9,551,016
セグメント利益	637,695	55,233	306,502	29,369	1,028,800	1,028,800

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028,800
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△669,265
中間連結損益計算書の営業利益	359,534

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,815,174	1,340,176	1,312,756	127,271	9,595,378	9,595,378
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	485	2,621	—	—	3,107	3,107
計	6,815,660	1,342,797	1,312,756	127,271	9,598,485	9,598,485
セグメント利益	769,374	113,442	227,747	39,873	1,150,438	1,150,438

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,150,438
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△710,348
中間連結損益計算書の営業利益	440,089

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。